

室蘭工業大学の学生が社会体験学習として農作業を体験

< 北海道 >

市町村・集落の名称	新冠町
協働の相手（企業や大学等）の名称	室蘭工業大学
仲介者・コーディネーターの名称	室蘭工業大学 門澤助教授 新冠町勤労青少年育成会
協働のポイント	体験実習を通じて農業への理解、広い社会的視野や問題意識をもたせる。 学生との交流で地域に活力を図る。
協働のきっかけ・経緯	門澤助教授が趣味の山登りが縁で知り合った新冠町の酪農家を訪問したことがきっかけで平成12年に試行、平成13年より大学の正式科目となり参加した学生には「社会体験実習」として2単位を与える。
取組の具体的な内容	水稻・施設野菜・酪農・軽種馬などの農家に10日間民泊し農作業を体験する。
農村地域への効果	実習を通じて命や食の大切さを消費者に伝えることができる。都市部と農村の人のつながりができる。
都市部の主体（企業や大学等）への効果	工業大学と農業はものづくりとしての共通点を見出せた。学生が実習を通じて人間力を磨くきっかけとなる。
仲介者等の役割	受入農家との調整
今後の課題	なし
関連事業（国・都道府県等）	なし

パークゴルフで交流を

第1回新冠ヒルス杯職対抗パークゴルフ大会開催



9月17日、パークゴルフを通じて職場間の交流を図ってもらおうと第1回新冠ヒルス杯職対抗パークゴルフ大会が西泊津パークゴルフ場で開催されました。大会には、19チーム、78人の町民の皆さんが参加し、プレーに一喜一憂しながら交流を図りました。なお、優勝チームは新冠町商工会チームです。

楽しい催し物が盛りだくさん ほろしりフェスティバルを開催



9月17日、節分ほろしりの里ではほろしりフェスティバルが開催され、多くの人で賑わいました。フェスティバルでは、フルートコンサートや牧草投げ大会などが行われた他、屋台村ではミルトの新作パン「よもぎパン」なども販売され、午前中で完売するほど大盛況でした。

話題

士に学び、牛たちに学び、喜びを知る 室蘭工業大学の学生が農家で農業実習

8月28日から10日間の日程で室蘭工業大学の学生が町内の農家で農業実習を行いました。今回、参加したのは室工大の1年から4年までの学生9名。今回が第5期生となる農業実習は2000年の試行期間を入れると今年で6年目。参加者は酪農・畑作・水稲・軽トラなどを営む農家に託泊し、農作業を体験、授業の一環として行なわれるため、単位の取得できるシステムとなっています。この農業実習が始まったきっかけは、松本健さん(若園在住)が室工大の門澤助教と知り合



▲受入農家の山田さんと実習生の上原君

い、同大で講演会を行なったことが始まり。参加した学生達も最初は農業実習が想像以上に大変だったと



▲美宇の鎌田さんのハウスで農業実習をする石田君

門澤助教も「受入農家の方がいる限り、この実習を続けていきたい」と語ってくれました。

口を揃えていましたが、新冠の自然や農家の方々の温かさにふれ、実習に来て本当に良かったと語ってくれました。また、受入農家の皆さんも最初は、学生のためにお手伝いできたらと思っていたことが今ではお互いにはいい刺激になっていると言った声や、工業と農業は一見関係ないように見えて色々な面で繋がっていると言った声も聞かれました。更に、実習が終わっても受入農家の皆さんと学生達の交流は続いているそうで、双方にとってこの実習は大きな意義があるのかもしれない。